

川村学園女子大学公開講座

2018

明治維新150年

12:50～14:20	日時	14:30～16:00
①明治維新の変革 教授 西川 誠	10月13日 (土)	②明治日本における翻訳、翻案 ～イギリス文学を中心に 准教授 小泉 朝子
③江戸の名所絵からたどる江戸東京 の移り変わり 非常勤講師 小林 信也	10月20日 (土)	④芸能者からみた明治日本 ～歌舞伎と民俗芸能を中心に 講師 伊藤 純
⑤吉之助と小五郎 ～薩長同盟・征韓論・西南戦争 教授 西川 誠	10月27日 (土)	⑥中世史家の見た革命と王権 ～明治維新とフランス革命を比較して 教授 金尾 健美



〔会場〕 川村学園女子大学 我孫子キャンパス

〔日時〕 平成30年10月13日・20日・27日 毎週土曜日

〔申込方法〕 申込不要 無料

〔問合せ〕 川村学園女子大学事務部 TEL 04-7183-0111

講座内容等は本学ホームページ「地域・産学連携 公開講座」まで

〔アクセス〕



川村学園女子大学

KAWAMURA GAKUEN WOMAN'S UNIVERSITY



講演要旨・講師・著書の紹介

① 明治維新の变革

観光文化学科 西川 誠 教授

明治維新150年。明治維新とはどんな革命だったのか、いくつかの視点で考えてみましょう。維新の原動力である幕府への不満とはなんだったのでしょうか。天皇中心の新政府はどうして公論を宣言したのでしょうか。公論尊重の結実である憲法は、新国家にどんな意味を持ったのでしょうか。外国の圧力の重みとは、そんなことを考えていきます。



専門：日本近代政治史
学歴：東京大学大学院人文科学研究科博士課程中退

『明治天皇の大日本帝国』（講談社学術文庫、平成30年）
共著『明治史講義【テーマ編】』（ちくま新書、平成30年）

② 明治日本における翻訳、翻案～イギリス文学を中心に 国際英語学科 小泉 朝子 准教授

明治時代の日本では、外国文学はどのような形で紹介されたのでしょうか。明治という通信事情の悪い時代にもかかわらず、当時の新しい文学や思想は驚くべきスピードで日本に伝わりました。そして英語に堪能な明治の著名人が、それを一般人に理解しやすい形へと変えて紹介したのです。その一例を挙げて考察してみましょう。



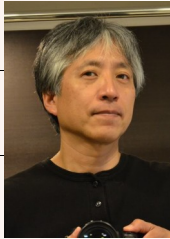
専門：イギリス文学・文化、英語教育
学歴：早稲田大学大学院文学研究科博士課程

『デリダと歴史の終わり』（スチュアート・シム著、単訳）
岩波書店、2006年

③ 江戸の名所絵からたどる江戸東京の移り変わり

史学科 小林 信也 非常勤講師

JR上野駅の南側やアメ横通り商店街の入り口付近の区域は、江戸時代には上野山下と呼ばれていました。その上野山下の風景をリアルに描写した風景画を紹介しながら、当時の社会状況について説明します。また、現在のこの地域の風景写真や地図と見比べながら、東京の近代化を象徴的する場所となった上野の江戸から東京への移り変わりをたどります。



専門：江戸・東京をフィールドとする近世・近代の都市社会史
学歴：東京大学大学院人文社会系研究科

『江戸の民衆世界と近代化』（山川出版社、2002年）
『江戸の都市プランナー』（柏書房、2013年）他。

④ 芸能者からみた明治日本～歌舞伎と民俗芸能を中心に 日本文化学科 伊藤 純 講師

「国家に益なき遊芸」という言葉に示されているように、芸能に対して厳しい視線で政策を展開した明治政府。古典芸能とされる歌舞伎、神楽や獅子舞といった民俗芸能は明治維新をどのように迎えたか。本講演では都市芸能としての歌舞伎と民俗芸能とを対比的にみつつ、芸能者の視線から明治日本についてお話します。



専門：民俗学（民俗芸能・祭礼研究）
学歴：早稲田大学大学院人間科学研究科博士課程修了

編著『文化の遠近法—エコ・イメージルII』言叢社、2017年

⑤ 吉之助と小五郎～薩長同盟・征韓論・西南戦争

観光文化学科 西川 誠 教授

西郷吉之助隆盛と桂小五郎こと木戸孝允とは、薩長同盟で幕府と対決することで同意した。しかし維新後は意見が対立することが多かった。合意した薩長同盟、対立した征韓論争、結果としての西南戦争の歴史過程を紹介します。ふたりの理想とする新国家像を考えましょう。

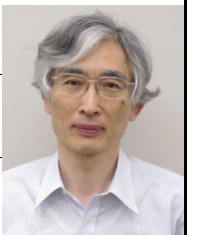


専門：日本近代政治史
学歴：東京大学大学院人文科学研究科博士課程中退

『明治天皇の大日本帝国』（講談社学術文庫、平成30年）
共著『明治史講義【テーマ編】』（ちくま新書、平成30年）

⑥ 中世史家の見た革命と王権～明治維新とフランス革命を比較して 史学科 金尾 健美 教授

フランス革命を人類に自由と平等という普遍的価値をもたらした大事件と見て、「サムライ」のクーデタたる明治王政復古と比較する、というのは些か陳腐です。王を排除しても、中心に据えても、ともかく国家という枠組みが残りました。その秘密に目を向けてみたいと思います。



専門：西洋中世史
学歴：パリ第4大学

『15世紀ブルゴーニュの財政——財政基盤・通貨政策・管理機構——』知泉書館2017年